

# 年金者組合三八支部ニュース

第244号 2011年12月20日  
発行責任者 高橋 靖昌 (三八支部委員長)  
Tel 0178 (43) 8249  
〒039-1166 八戸市根城7-7-19

## 活動範囲を広げ2倍の組織を

### 要求に基づいた街づくりの活動がカギ に 第1回支部委員会はいままでになかった意見が飛び交う

「6カ年で20万人の組織にしよう」全国大会の決定を各県、各地域の取り組みのニュースが年金者しんぶんに掲載されている。三八支部は、12月12日に支部委員会を開き、この問題について話し合った。

委員会では、佐藤副委員長が、本部の取り組みの報告と三八支部の方向を提案した。「1年間に35人、1月に3人増やせば、目標が達成できる。」という提案に、参加者は、倍増の可能性を感じた。

阿部年金担当執行委員から、最近の年金問題をめぐる動きについてミニ講座があったがますます怒りが湧



27人が参加して第1回委員会が開催された。挨拶する高橋委員長。

くような内容だった。

「組合員の要求を調査し、問題化して取り組むことが必要になってきている。除排雪は高齢者にとっては大変大きい問題だ。」

「老人クラブなどと連携した活動をするとか、老人クラブなどの組織に入って活動し組織を広げるといふ見方も必要ではないか。」

「活動がまじめすぎて、面白さが足りない。山の会などのように体を動かす要求にこたえていない。」

「シルバークーラスやうたごえのサークルができればもっと仲間が増えると思うので考えてほしい。」

「サークルなどでどんな事務所を活用してはどうだろうか。今の『花と樹を観る会』や『瞳の会』の後継者がほしい。」

「全行政区に支部を作り、街づくり政策を持つことは今までの活動をかなり変えていくことだと思ふ。それに見合った活動スタイルを模索しなければならぬ。」

建設的な意見が次々と出された。今までにない活発な支部委員会だったとの感想が出された。6月の総会までに220名の組織にすることを再度確認して閉会した。その後、交流会で懇親を深めた。

いろいろなことが多くあった年でした。みなさんのご協力です。何とが新しい年を迎えられそうです。

ありがとうございます。

年金者組合三八支部執行委員会

12月は仲間づくり月間です  
20名増の目標が、まだ2名増に  
留まっています。お力を!

## 新春の集いは 2月2日(木) 12時から

新春の集いを次の通り開催します。たくさん集まって楽しみましょ

う。

■ とき 2月2日(木) 11時半(受付開始)12時(開始)～ 15時半終了

### 聞いてよ

#### 「大本営」は二度と「免だ」

小倉 春雄

最近のマス・メディアに対してどうしても納得できないことがある。去る10月30日、福島市で「なくせ！原発、10・30大集会」が、福島実行委員会により開催された。集会に全国から1万人を越す人たちが集まった。八戸から大型バス1台37人、わが年金者組合からも6人が参加している。原発事故から9ヶ月も経っているのに、未だ、収束の見通しがたっていない原発。人間が作ったが、作った人間がどうにもできない原発。人間を放射能で死に追いやる原発。その原発をなくしようと1万人を越す人たちが集まっている。

このことを日本のテレビや新聞が、わたしの知る限り、しんぶん赤旗を除いて全く放道しなかった。これは、一体どういうことなんだ。

マス・メディアの仕事の第一は、こののよし悪しにかかわらず、いつ、どこで、だれが、なにをしたか、その事実を不偏不党の立場で正しく伝えなければならないはずである。NHKはもとより他のメディアも

もしかりである。

09年の総選挙で自民党政権から民主党政権に替わり、NHKでは自民党の圧力が弱まったのか、歴史物や過去の事件でも真実を伝える番組も放映されるようになった。あるべき姿になりつつあるかと思っていたが、今回のことをみると、期待はずれと思わざるを得ない。誠に残念である。

わが国は民主主義の国だという。民主政治は国民一人ひとりの判断に基づいて行われるものだという。確かな判断は確かな情報によってのみ下される。私たちはほとんど

どの場合、マス・メディアから情報を得ている。メディアが、意図的に事実をねじ曲げて伝えたり、隠して伝えなかったりする

と、国民が正しい判断ができなくなる。戦時下の大本営の発表でほとんどの国民がだまされたではないか。もう二度と「免だ」一日も早く、真実を伝えるマス・メディアになってもらいたいものである。

### ご冥福を

お祈りします

山岸軍喜さん

11月29日逝去(75歳)



**阿部耕一さんと年金の基礎を学びましょう**  
 《息子と父の問答編》 第14回  
**年金の何が問題になっているの？**

息子 年金に関する政策案が出たり引っ込んだりするけどどんなのがあるの？

父 そうだね。「社会保障改革に関する集中検討会議」には次の11の問題が出されたよ。① 支給開始年齢を68歳に引き上げる問題。② 「特例水準」と言っている年金支給水準を3年かけて2.5%引き下げ、その後、マクロ経済スライドを物価下落でも発動させる給付削減問題。③ 最低保障年金の先送りの問題。④ 一定所得以上の人々の基礎年金額の引き下げ問題。⑤ 厚生年金の保険料の上限引き上げ問題。⑥ 第3号被保険者制度の廃止問題。年金受給資格の取得に必要な加入期間短縮の問題。⑦ 厚生年金加入要件を緩和し、短時間労働の非正規労働者の加入促進の問題。⑧ 低所得の高齢者の基礎年金に定額か定率で換算する問題。⑨ 現在は育児休業中に限られている厚生年金の保険料免除期間を産前・産後の休業期間に拡大する問題。⑩ 働いている60～64歳の厚生年金の減額幅を縮小する問題。⑪ 厚生年金と共済年金を一元化する方向の問題等。たくさんあるよ。

息子 ウワー。どれも難しそうな問題ばかりだね。

父 次回から一つずつ取り上げて、一緒に考えてみようか。毎日のニュースに気をつけたいね。



今回もたくさんさんの料理がテーブルに並んだ【写真上】  
 自然薯を楽しく擦る参加者【写真右】(左が高橋委員長)

料理は新しい食べ物が多くなった。荒い。かき混ぜてお料理していただきます。自然薯はとってもおいしいですよ。料理は新しい食べ物が多くなった。荒い。かき混ぜてお料理していただきます。自然薯はとってもおいしいですよ。



**自然薯のとりろごはんに感激！**

11月23日、三八教育会館で「望月さんを偲ぶつどい」が開かれた。思い出を語る小谷地副委員長【写真下】

12月10日、福祉公民館で科学者会議八戸分会例会が開かれ、「放射能が人体に及ぼす影響」の題で竹本医師が講演した。150人が参加。



11月26日、はちのへ九条の会が「憲法と原発と核燃問題を考えるつどい」を開いた。写真は報告する浅石弁護士。



**活動日誌**

- 11月
  - 23日(水) 望月さんを偲ぶつどい
  - 24日(木) 旧社保庁不当解雇問題を考える会
  - 25日(金) 生存権裁判街宣
  - 26日(土) はちのへ九条の会  
「憲法と原発と核問題を考える集い」
  - 29日(火) うみねこ班会
  - 30日(月) 消費税街宣
- 12月
  - 2日(金) 第6回三役会議
  - 4日(日) カラオケを楽しむ会忘年会
  - 6日(火) 第6回執行員会
  - 7日(水)・8日(木) アンダンテ上映
  - 10日(土) 科学者会議「竹本医師講演会」
  - 12日(月) 第1回支部委員会
  - 16日(金) うみねこ班会
  - 19日(月) 女性部レク 温泉と映画鑑賞の集い
  - 20日(火) ニュース244号発行

**活動予定**

- 12月
  - 21日(水) 消費税街宣 (1時半) 三春屋
  - 24日(土) 生存権裁判街宣 (1時半) 三春屋
- 1月
  - 6日(金) 第7回三役会議 (1時半) 組合事務所
  - 8日(月) 地労連新春宣伝 (1時) 三春屋前  
6.9行動 (2時) 三春屋前
  - 10日(火) 第7回執行員会 (1時半) 組合事務所
  - 13日(金) 地労連旗開き 6時半 教育会館
  - 2月2日 新春の集い 12時 長者公民館